**稟議システム**

**承認フロー系**

**機能仕様書**

目次

[1 承認フロー系機能概要 1](#_Toc204262488)

[2 機能一覧及び機能搭載画面の参照一覧 1](#_Toc204262489)

[3 承認フロー検索機能 2](#_Toc204262490)

[3.1 機能概要 2](#_Toc204262491)

[3.2 機能仕様 2](#_Toc204262492)

[3.3 入力項目 2](#_Toc204262493)

[3.4 出力項目 3](#_Toc204262494)

[3.5 特記事項及び設計意図 3](#_Toc204262495)

[4 承認フロー定義・改修機能 4](#_Toc204262496)

[4.1 機能概要 4](#_Toc204262497)

[4.2 機能仕様 4](#_Toc204262498)

[4.3 入力仕様 7](#_Toc204262499)

[4.4 出力仕様 9](#_Toc204262500)

[4.5 特記事項 9](#_Toc204262501)

[5 承認フローステータス変更機能 10](#_Toc204262502)

[5.1 機能概要 10](#_Toc204262503)

[5.2 機能仕様 10](#_Toc204262504)

[5.3 入力仕様 11](#_Toc204262505)

[5.4 出力仕様 11](#_Toc204262506)

[5.5 特記事項及び設計意図 11](#_Toc204262507)

[6 承認フローデータエクスポート機能 12](#_Toc204262508)

[6.1 機能概要 12](#_Toc204262509)

[6.2 機能仕様 12](#_Toc204262510)

[6.3 入力仕様 12](#_Toc204262511)

[6.4 出力仕様 12](#_Toc204262512)

[6.5 特記事項及び設計意図 13](#_Toc204262513)

[7 承認フローデータインポート機能 14](#_Toc204262514)

[7.1 機能概要 14](#_Toc204262515)

[7.2 機能仕様 14](#_Toc204262516)

[7.3 入力仕様 14](#_Toc204262517)

[7.4 出力仕様 15](#_Toc204262518)

[7.5 特記事項 15](#_Toc204262519)

[8 承認フロー複写機能 16](#_Toc204262520)

[8.1 機能概要 16](#_Toc204262521)

[8.2 機能仕様 16](#_Toc204262522)

[8.3 入力仕様 16](#_Toc204262523)

[8.4 出力仕様 16](#_Toc204262524)

[8.5 特記事項 16](#_Toc204262525)

[9 承認フロー表示設定機能 17](#_Toc204262526)

[9.1 機能概要 17](#_Toc204262527)

[9.2 機能仕様 17](#_Toc204262528)

[9.3 入力仕様 17](#_Toc204262529)

[9.4 出力仕様 19](#_Toc204262530)

[9.5 特記事項 19](#_Toc204262531)

[10 改訂履歴 20](#_Toc204262532)

# 承認フロー系機能概要

本機能系は、各種稟議に対応する承認フローをシステム上で柔軟に作成・編集・管理可能とする機能である。  
承認フロー作成者および管理者は、フロー構成の定義、承認手順・承認者の設定、さらには承認条件や順序の制御、通知の設定を行うことができる。また申請フォームとの連携を前提にワークフローシステムの遂次承認基盤を提供する。

# 機能一覧及び機能搭載画面の参照一覧

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 機能ID | 機能名称 | 搭載画面名称 | 参照先画面仕様書 |
| 1 | 承認フロー検索 | 承認フロー管理画面 | 承認フロー系画面仕様  承認フロー管理画面シート |
| 2 | 承認フロー定義・改修 | 承認フロー定義画面 | 承認フロー系画面仕様  承認フロー定義画面シート |
| 3 | 承認フローステータス変更 | 承認フロー定義画面 | 承認フロー系画面仕様  承認フロー定義画面シート |
| 4 | 承認フローデータエクスポート | 承認フロー管理画面 | 承認フロー系画面仕様  承認フロー管理画面シート |
| 5 | 承認フローデータインポート | 承認フロー管理画面 | 承認フロー系画面仕様  承認フロー管理画面シート |
| 6 | 承認フロー複写 | 承認フロー管理 | 承認フロー系画面仕様  承認フロー管理画面シート |
| 7 | 承認フロー表示設定 | 承認フロー表示設定画面 | 承認フロー画面仕様  承認フロー表示設定画面シート |

# 承認フロー検索機能

## 機能概要

定義済みの承認フロー情報をフローID・名称・バージョン・ステータス等の条件で検索及び一覧表示する機能。検索結果は各種操作の起点として利用する。

## 機能仕様

利用者は3.3 [承認フロー検索条件]の項目を入力し、承認フローの絞り込みを行う。

なお。何も条件を指定しない状態で検索機能を利用した場合には「全ての承認フロー」が一覧として表示される。検索結果の表示については3.4[検索結果毎の表示パターン]に一覧として示す。

## 入力項目

[承認フロー検索条件]

この検索条件の詳細仕様(入力方法・最大長・入力型など)は画面仕様書を参照するものとし、以下には検索条件とその概要と絞り込み用途を示す。

|  |  |
| --- | --- |
| 検索条件(項目名) | 概要・絞り込み用途 |
| キーワード | 承認フローIDや承認フロー名称など承認フロー単一を示すユニーク情報を指定する。部分一致により合致する承認フローが検索結果となる。  初期選択値：なし　最大入力情報数：1件  ※区切り文字も文字としてカウントするが区切り文字のみの検索は不可とする。 |
| 利用申請フォーム | 申請フォームを選択してそのID情報を指定する。当該承認フロー内で申請者が利用する申請フォームとして指定した申請フォームを設定している承認フローが検索結果となる。  初期選択値：なし　最大選択フロー数：制限なし |
| 利用稟議ID | 既に起票されている稟議のID情報を指定する。  稟議で利用されている承認フローが検索結果となる。  初期選択値：なし　最大選択稟議数：制限なし |
| バージョン | 各承認フローのバージョン情報に対して「運用中バージョンのみ」「過去バージョンを含む」の何れかを指定する。  他の検索条件の結果を更にバージョン情報によって絞り込む用途として利用される。  初期選択値：「運用中のバージョンのみ」 |
| 運用ステータス | 承認フローのステータス情報を指定する。  作成中」「運用中」「運用停止中」「廃止」から選択する  初期選択値：「作成中」「運用中」　最大選択ステータス数：4件 |

## 出力項目

[検索結果毎の表示パターン]

この表示パターン一覧は、この検索機能を通じた検索の結果の件数や状態によって表示される内容を示すものである。表示される位置や表示方法については画面仕様書を参照するものとする。

|  |  |
| --- | --- |
| 検索結果及び状態 | 表示される情報と仕様 |
| 検索結果が1件以上 | 検索条件の絞り込み(AND検索)へ合致した承認フローの情報の内  [3.4検索結果として表示される情報]を一覧で表示する。 |
| 検索結果が0件 | 「検索条件に合致する承認フローはありません。」というメッセージを表示する。 |
| その他検索機能に異常が発生した場合 | 「検索処理中に問題が発生しました。引き続き問題が発生する場合にはシステム管理者へ連絡してください。」というメッセージを表示する。  なお。この表示はシステムエラーを通知する画面を介して行う。  (システムエラー画面　○○画面仕様書.xlsx　○○シート参照) |

[検索結果として表示される情報]

検索結果として一覧に表示する情報項目とその概要を示す。

なお。具体的な表示方法に関しては、画面仕様書を参照するものとする。

|  |  |
| --- | --- |
| 情報項目 | 情報の概要 |
| 承認フローID | 承認フロー単一若しくは同じの承認フローから派生したバージョンであることを確認する為の文字情報。 |
| 承認フロー名称 | 承認フローの名称。 |
| 承認フローのバージョン | 同じ承認フロー内でのバージョン情報。  初期バージョンを「1」として更改等の特定処理が行われる度に自動で「1」ずつ増加する。  [4承認フロー定義・改修機能]を参照すること。 |
| 承認フローの運用ステータス | 承認フローの運用ステータス情報。  「作成中」「運用中」「運用停止中」「廃止」の内、何れかのステータスが付与されている。 |

## 特記事項及び設計意図

この検索機能では、業務要件や業務フローの増加によって承認ワークフローが増加した場合に伴って承認フローも増加する可能性が極めて高い為、目的とする承認フローを可能な限りクリティカルに検索できる必要がある。また、この検索機能は承認フロー系全機能の起点となることから同様にクリティカルで抽象幅の低い検索条件を定義する必要がある。

その為、AND検索(絞り込み検索)として定める。

# 承認フロー定義・改修機能

## 機能概要

新たな承認フローの作成及び既存承認フローの構成変更を行う機能。仕様としてバージョン管理や承認フロー自動連係などの機構を含む。

## 機能仕様

この機能では承認フローの定義を行う。

定義は、以下の6種の設定項目によって行われる。

・承認フロー基本情報の設定

　・各種権限の設定

　・処理毎の通知設定

　・申請ステップ　申請者ノードの設定

　・承認ステップの設定

　・承認ノードの設定

以下に、それぞれの詳細仕様及び保持する情報を示す。

★承認フロー基本情報設定で設定する項目は、4.3[基本情報設定項目]を参照するものとする。

★各種権限の設定で設定する項目は、「新規申請権限」「参照権限」「中止権限」の3種類ある。

　新規申請権限：この承認フローを利用して稟議を起票できる拠点グループを指定する。

　参照権限：この承認フローを利用して申請された稟議情報を参照(閲覧)できる拠点グループを指定する。なお。稟議の基本情報として「申請グループ」といった項目が存在し、そこで設定された拠点グループに至っては、この「参照権限」設定で指定されていない場合でも参照することができる。

また、ロール権限が「管理者」のユーザーで認証を受けている利用者は、稟議検索機能を介して参照することが可能である。

　中止権限：この承認フローを利用して申請された稟議を中止できる拠点グループを指定する。

　なお。稟議を申請した利用者(申請者)とロール権限で「管理者」が設定されているユーザーで認証を受けた利用者は、この中止権限設定で指定されていなくても中止を行うことができる。

それぞれの設定値の詳細仕様は4.3[権限設定項目]を参照するものとする。

★処理毎の通知設定

　この項目で設定するのは、稟議の「申請」「完了」「中止」それぞれのタイミングで発報する通知の詳細な設定である。通知先の指定や通知コメントの設定(固定・手入力)などを行う。ここで設定された通知は承認や差戻などの要求通知とは異なり、稟議の状態に起因して設定の通り通知メールが送信される。

詳しい、設定項目やその仕様は4.3[稟議通知設定項目]を参照するものとする。

★申請ステップ　申請者ノードの設定

　この項目で設定するのは、承認フローに沿った稟議稼働の起点となる申請行為を行うノードの設定である。このシステムで作成する承認フローには「申請ステップ」「承認ステップ」の2つの概念が存在し、「申請ステップ」には最低1件の申請者ノードが存在する。

この申請者ノードは「申請者基本設定」と「申請者代行設定」という2つの設定情報によって成り立ち、申請で利用する申請フォームの指定や申請を行う利用者の指定を行う。

複数の申請者ノードを設定して承認フローを定義することが可能であり、申請者ノード毎に通過・駆動する承認ステップを選択、並行した承認フローを駆動させることができる。

承認フローの駆動開始については、すべての申請者ノードから申請が行われたタイミングで承認ステップ及び承認フローに沿った稟議(決裁行為)が開始される。

**権限設定の新規申請設定と申請者ノードの違い・関係**

　上段で記述した設定項目である権限設定の「新規申請設定」とこの申請者ノードの設定は依存関係を持つ。

新規申請設定：当該承認フローを利用して起票行為(申請を含む)を行うことができる利用者を指定する。

申請者ノードの申請者指定：当該申請者ノードから起票行為(申請を含む)を行った際に申請者として記録される利用者・拠点グループを指定する。

新規申請設定で設定された拠点グループの中から利用者やグループを指定して設定する。

この設定で拠点グループを選択した場合には、更に役職情報の指定を行い、指定された役職を当該グループ内で持つ利用者のみ申請を行うことができる。

つまり、新規申請権限で設定された拠点グループ＞申請者ノードが設定できる利用者・拠点グループ

という関係性が成り立つ。

★承認ステップの設定

　この項目で設定するのは、上段で記述した「承認ステップ」の設定である。

この承認ステップは、最低1件以上の承認者ノードを保持しており、承認ステップ自身の設定情報も保持する。

なお。承認ステップは並行した承認フローを定義することが可能で以下の例のようなフローを実現する。

例：　申請者ノードＡから申請⇒承認ステップ➀が駆動。終了後、承認ステップ➂へ遷移。

　　　申請者ノードＢから申請⇒承認ステップ➁が駆動。終了後、承認ステップ➂へ遷移。

　　　承認ステップ➂は承認ステップ➀と➁の両方が終了後に駆動開始。

★承認者ノードの設定

　この設定項目では、承認者として決裁要求を行う利用者の指定や次に遷移する承認者ノードの指定・条件の設定、決裁行為を行った際の通知設定など設定を行う。

承認者ノードの設定は、駆動する際の順序情報を持ち、1番から大きな値へ駆動していく。

順序の入れ替えに関しては、D&D操作を用いて行う。操作感などは画面仕様書を参照するものとする。

なお。申請ステップ・申請者ノード・承認ステップ・承認者ノードの設定項目及び入出力仕様については、別途：承認フロー基幹設定項目ドキュメントを参照するものとする。

**バージョンアップについて**

　バージョンアップとは、既に定義及び運用されている状況の承認フローに対して修正を行った場

合に発生する。発生する条件は、「承認フローとの連携がされていること」「承認フローを利用し

稟議が起票されていること」の2つの何れか若しくは両方を満たす場合である。

バージョン情報は、新規定義時「1」と附番し、発生する度に「1」ずつ増加する。

最大値などの指定はなく、運用時常に最新バージョンの承認フローが利用される。

なお。検索や承認フロー連携では最新バージョン以外にも下位バージョンも利用することができる。

(バージョンアップ時の自動再設定)

　また、下位バージョンを最新バージョンとし上位バージョンを破棄する「引き戻し」が可能である。この場合、「上位バージョンを利用した稟議が起票されていない」ことを条件とし、UI上から引き戻しを行う。引き戻しが可能な範囲は1バージョンとし、引き戻し後に再度改修が発生した場合には、同様に「1」バージョンを繰り上げる。(例　1⇒2⇒3⇒2⇒3)

　バージョンアップ及びバージョン情報はシステムにより自動で管理し、利用者が直接数値を入力し

　管理することはない。

**承認フローの改修**

　既に定義された承認フローの改修についても定義時と同様に画面・仕様で行われる。

バージョンアップが発生した場合には、バージョン差分を含む該当フローの全データ構造を新たに登録する。

なお。同承認フローが編集中である場合には、同時編集はできず、閲覧のみとし同じユーザーが複数のタブでアクセスした場合も同様の仕様とする。

この機能の各表示方法及び設定操作の手法は画面仕様書を参照するものとする。

この承認フロー定義及び改修機能では保存を行うことが最終的な定義の意味づけとなる。

保存時に定義されたフローに矛盾や設定漏れが発生していないかを確認し、その結果を基にデータの作成を行う。それぞれの結果毎にUIを用いて通知を行う。4.4[処理結果通知]を参照。

## 入力仕様

それぞれの入力値の詳細に関しては画面設計書を参照するものとする。

[基本情報設定項目]

これらの項目は承認フローの基本的な情報としてシステム内で扱われ、承認フロー連携をはじめとしワークフローシステムにおける受付基盤の基底情報となる。

|  |  |
| --- | --- |
| 基本情報項目 | 概要・用途・仕様 |
| 承認フローID | 承認フローの判別基盤となる情報。  新規定義時のみ重複のないユニークな文字列で利用者が設定する。  バージョンアップが行われた場合、同じID情報が利用される。 |
| 承認フロー名称 | 承認フローの名称情報。  全ての承認フローに対して重複制限などは設けない。  バージョンアップが行われた場合、同じ名称情報が利用される。 |
| バージョン | 承認フローのバージョン情報。  初期値を「１」とし、バージョンアップが発生する度に「１」ずつ増加する。[4.2]の仕様で記した通り、下位バージョンを最新バージョンとして扱う「引き戻し」が可能である。  引き戻しを行うことができるのは、直前の1バージョンのみ。かつバージョンを用いた稟議起票が行われていない事が条件となる。 |
| 承認フロー変更権限 | 該当承認フローの改修権限を付与する拠点グループを指定する。  なお。承認フローの定義を行った利用者には自動的に同権限が付与される。 |
| 稟議ID採番区分 | この承認フローを利用して起票された稟議のID情報に関する設定  「手動入力」「自動採番」があり、何れかを選択する。  手動入力：起票時に利用者が重複のないID文字列を定義する。  自動採番：「固定値」「年月日」「連番」などを用いて基本設定項目上で自動採番ルールを定義しそれに沿ったID文字列が生成される。  初期値：手動入力  手動・自動問わず、生成定義される文字列は60文字以内。(空白や特殊文字を含む。)  詳細な設定の方法については、画面仕様書を参照。 |
| 稟議名称設定区分 | この承認フローを利用して起票された稟議の名称情報に関する設定  「手動入力」「自動設定」があり、何れかを選択する。  手動入力：起票時に利用者が都度稟議名称を定義する。  自動採番：「固定値」「年月日」「連番」「稟議ID」などを用いて基本設定項目上で自動設定ルールを定義しそれに沿ったID文字列が生成される。  初期値：手動入力  手動・自動問わず、生成定義される文字列は60文字以内。(空白や特殊文字を含む。)  詳細な設定の方法については、画面仕様書を参照。 |

[権限設定項目]

|  |  |
| --- | --- |
| 情報項目 | 概要・用途・仕様 |
| 新規申請権限 | 承認フローを利用して稟議を起票することのできる利用者を拠点グループを用いて指定する。  すべてのグループ・グループ指定の何れかを選択し、設定する。 |
| 参照権限 | 承認フローを利用して申請された稟議を参照することのできる利用者を拠点グループを用いて指定する。  すべてのグループ・グループ指定の何れかを選択し、設定する。 |
| 中止権限 | 承認フローを利用して稟議を中止することのできる利用者を拠点グループを用いて指定する。  すべてのグループ・グループ指定の何れかを選択し、設定する。 |

[稟議通知設定項目]

|  |  |
| --- | --- |
| 情報項目 | 概要・用途・仕様 |
| 通知設定名称 | 通知設定の名称情報。  名称による設定の判別を目的として設定する。  初期値：なし　最大文字数：60文字 |
| 通知先 | 通知先を選択により指定する。  申請者・申請グループ・ユーザー・グループの何れかを選択する。  この時申請グループ・グループが選択された場合、役職のFromToを用いて通知する利用者の範囲を指定する。 |
| 通知コメント種別 | 通知コメントを固定として設定するか、通知タイミングの前に都度利用者に入力を求めるかを設定する。  固定・都度入力の何れかを設定。  通知コメントには固定及び都度入力に関わらず以下の情報が追加設定される。「稟議ID」「稟議名称」「通知日時」「稟議へのリンク」 |
| 通知タイミング | 「稟議申請時」「稟議完了時」「稟議中止時」の何れかを選択する。 |
| 通知コメント | 通知コメント種別で固定が選択された場合にのみ設定する。  利用者が最大300文字という範囲で通知メールに記載する文章を設定する。 |

## 出力仕様

[処理結果通知]

|  |  |
| --- | --- |
| 処理結果 | 表示される内容及び仕様 |
| 定義が全て正常でありデータ構成が完了した場合 | 「承認フローの定義(改修)が完了(を反映)しました。  （既に起票されている稟議については、改修以前のバージョンが利用されます。）」というメッセージを表示。 |
| 定義データチェックでの必須項目の設定漏れ | 「入力されていない必須設定値があります。」というメッセージを表示。 |
| 定義データチェックでの設定矛盾 | 「設定定義が矛盾しています。詳しくは○○」というメッセージを表示。 |
| 承認フローIDの重複 | 「既に使用されている承認フローIDの為、利用できません。」というメッセージを表示。 |
| バージョン情報などの不整合及びデータ上の問題 | 「定義データに問題が発生しています。引き続き問題が発生する場合にはシステム管理者へ連絡してください。」という表示。  この問題が発生した場合、バージョン情報の修正を自動で行う処理が駆動し修正が不可能な場合には、「その他変更機能に異常が発生した場合」と同様の出力が行われる。 |
| その他変更機能に異常が発生した場合 | 「更新処理中に問題が発生しました。引き続き問題が発生する場合にはシステム管理者へ連絡してください。」というメッセージを表示する。  なお。この表示はシステムエラーを通知する画面を介して行う。  (システムエラー画面　○○画面仕様書.xlsx　○○シート参照) |

## 特記事項

特段の記載事項なし。

# 承認フローステータス変更機能

## 機能概要

承認フローの運用ステータス(作成中・運用中・運用停止中・廃止)を管理・変更する機能。

この機能は承認フローのライフサイクルを制御し、承認フローの公開・非公開状態の切り替えや

利用停止・廃止などの状態変更により、利用可能範囲や編集可否を制御する。

## 機能仕様

この機能は単一の承認フローに対して運用ステータスの変更を行うことを目的とし、常に最新バージョンの承認フローを対象にステータス変更を行う。

各ステータスの変更はUI上のボタンを用いて行う。ボタン変更ボタンのUI仕様に関しては画面仕様書を参照するものとする。

変更対象の承認フローが持つ運用ステータスの既定値によって変更できる運用ステータスが異なり、伴ってUI上に表示される変更ボタンの種類も異なる。5.3[変更対象ステータと変更可能なステータス]を参照。

更新後の出力についは、5.4[処理結果通知一覧]を参照。

各運用ステータスの項目情報とシステム内での取り扱いを以下に示す。

|  |  |
| --- | --- |
| 運用ステータス | 付与条件とシステム内での取り扱い |
| 作成中 | 付与条件：なし(新規定義と新バージョン生成時に自動付与)  取り扱い：データ構造が保存管理され、再編集が可能な状態。 |
| 運用中 | 付与条件：なし  取り扱い：システムからの利用及び表示設定が可能な状態。 |
| 運用停止中 | 付与条件：なし  取り扱い：一時的に承認フローの利用を停止している状態。  表示設定は解除されずその関係性は保持される為、設定を解除することなく利用を一時的に停止できる。 |
| 廃止 | 付与条件：承認フローとの連携が全て解除されていること。  取り扱い：承認フローの利用を完全に廃止する状態。  フロー表示設定に設定されている場合には、すべて自動で解除される。 |

なお。承認フローにはバージョン管理の機構が含まれているが、最新バージョンの承認フローの運用ステータス情報によって下位バージョンのステータスを自動変更する。5.3[自動更新情報]参照。

## 入力仕様

[変更対象ステータと変更可能なステータス]

|  |  |
| --- | --- |
| 変更対象フローの既定値 | 変更可能なステータス |
| 作成中 | 運用中 |
| 運用中 | 運用停止中・廃止 |
| 運用停止中 | 運用中・廃止 |
| 廃止 | 運用中・運用停止中 |

[自動更新情報]

|  |  |
| --- | --- |
| 最新バージョンのステータス | 下位バージョンに自動設定するステータス |
| 作成中 | 自動更新なし。 |
| 運用中 | 運用停止中 |
| 運用停止中 | 自動更新なし |
| 廃止 | 廃止 |

運用中ステータスが付与されるバージョンは同じ承認フローで1バージョンのみであり、他の承認フローには運用停止中ステータスが付与される。最新バージョンの承認フローが廃止された場合には全ての下位バージョンにも廃止ステータスが付与される。

## 出力仕様

[処理結果通知一覧]

|  |  |
| --- | --- |
| 処理結果 | 表示される内容及び仕様 |
| ステータス変更完了 | 成功したことによる通知などの表示は行わない。  仕様に沿った変更用ボタンUIの生成を行う。 |
| その他変更機能に異常が発生した場合 | 「更新処理中に問題が発生しました。引き続き問題が発生する場合にはシステム管理者へ連絡してください。」というメッセージを表示する。  なお。この表示はシステムエラーを通知する画面を介して行う。  (システムエラー画面　○○画面仕様書.xlsx　○○シート参照) |

## 特記事項及び設計意図

特段の記載事項なし

# 承認フローデータエクスポート機能

## 機能概要

この機能は承認フローデータを再取り込み可能な形式で生成しファイル構造としてダウンロードさせる機能である。検証環境から本番環境へのデータの移し替えやデータ保全の為のダウンロードなどの状況を想定して仕様を定めている。

## 機能仕様

この機能は、承認フローを単一若しくは複数指定しエクスポート処理を行いそれらの情報を圧縮ファイル形式でブラウザを経由して出力する。(ダウンロード先はブラウザの設定値に依存する。)

エクスポートする承認フローの指定についてはUI上で選択する仕様とする。

出力される圧縮ファイルの形式は6.4[ダウンロードファイル構成]を参照するものとする。

また、エクスポート処理の結果によって出力する内容が異なる為、6.4[処理結果通知一覧]に示す。

この機能仕様に伴う、選択方法やエクスポート操作については画面仕様書を参照するものとする。

## 入力仕様

特段の記載事項なし。

## 出力仕様

[ダウンロードファイル構成]

以下の項目は、エクスポート機能によって出力される圧縮ファイル(ZIP)内部のファイル構成とファイル用途・内容を示したものである。(圧縮ファイル名称：承認フローエクスポートデータ[YYYYMMDDHHmmss])

|  |  |
| --- | --- |
| ファイル名称及び形式 | ファイル用途・内容 |
| 承認フロー | エクスポート対象の承認フローデータをJSON構造に変換した情報を記載する。エクスポートする承認フローの数に関わらず1ファイルでの出力とする。 形式はJSON形式ではあるが、拡張子を消して生成し閲覧を阻害することにより閲覧中のヒューマンエラーによるデータ破損の障がいとなる。  詳細については承認フローエクスポート.jsonを参照。 |
| SignHash.env | 承認フローJSONファイルをハッシュ評価した値を記載する。  エクスポートした時点でのデータに対する証明ファイルの役割を担い、改ざんを検知する為に同梱する。 |

[処理結果通知一覧]

以下の項目は、エクスポート処理の処理結果によってUIを介して通知する内容を示すものである。

具体的な表示方法や挙動は画面設計書を参照するものとする。

|  |  |
| --- | --- |
| 処理結果 | 表示する内容及び仕様 |
| エクスポート完了 | 「エクスポート処理が完了しました。」というメッセージを表示する。 |
| その他エクスポート処理中に以上が発生した場合 | 「エクスポート処理中に問題が発生しました。引き続き問題が発生する場合にはシステム管理者へ連絡してください。」というメッセージを表示する。  なお。この表示はシステムエラーを通知する画面を介して行う。  (システムエラー画面　○○画面仕様書.xlsx　○○シート参照) |

## 特記事項及び設計意図

この機能で生成される圧縮ファイル及びそのディレクトリ構成には利用者によるファイルやデータ構造の改ざんを阻害する機構を組み込んでおり、閲覧阻害と改ざん時の検知を柱とする。

➀圧縮ファイルの拡張子クリア➁データファイルの拡張子クリア➂データハッシュの取得

理由として、以下の効果・要件を満たす為にこのような設計となっている。

・利用者が出力したと認知するデータ構造と実際のデータ構造を一致させる為。

・システムとして誤ったデータ構造が投入されることによるデータ破壊のリスクを軽減する為。

# 承認フローデータインポート機能

## 機能概要

この機能は、外部ファイルからの承認フロー定義情報をシステム内へ取り込み・再構成または新たに作成する際に用いる。バージョン整合性と重複確認などのチェック機構を有し投入されるデータ構造と既存のデータ構造を両立した取り込みを実現する。

## 機能仕様

この機能は、事前に指定された形式を用いて承認フローデータを投入し、そのデータ正規性や整合性を確認した後、再構成を行う機能である。

データ投入に用いる形式は、6.4[ダウンロードファイル構成]を参照するものとする。

同形式にはデータファイルとその正規性を証明するサインファイル(データハッシュ値)が格納されており、アップロード後にデータを再評価、サインファイルデータとの比較を行い正規性を確認する。

比較結果として評価値が一致しなければ不正ファイルとして認定しデータ投入の処理は行わない。

投入されるデータの[承認フローID][承認フローバージョン]の2つの情報が既存データ構造内に存在するか否かを確認する。

存在する場合、「既存フローのバージョンアップとして処理する」若しくは「IDを新たに設定する」の何れかを利用者へUIを用いて通知を行い選択させる。

利用者の選択如何を問わず、承認フロー定義画面を用いて構造を表示しデータ投入の最終確認を求める。

存在しない場合、承認フロー定義画面にそのデータ構造を表示する。

各処理結果により出力が異なる通知等は7.4[処理結果通知一覧]を参照するものとする。

また、この機能でのファイルアップロード操作やデータ取扱いの選択等に加え通知等の表示方法については画面仕様書を参照するものとする。

## 入力仕様

[インポートファイル構成]

以下の項目は、インポート機能によって投入される圧縮ファイル(ZIP)内部のファイル構成とファイル用途・内容を示したものである。(圧縮ファイルの名称は問わない。)

|  |  |
| --- | --- |
| ファイル名称及び形式 | ファイル用途・内容 |
| 承認フロー | 承認フローデータをJSON構造に変換した情報が記載されたファイル。形式はJSON形式ではあるが拡張子が書き込まれていない。 |
| SignHash.env | 承認フローJSONファイルをハッシュ評価した値を記載する。  エクスポートした時点でのデータに対する証明ファイルの役割を担い、改ざんを検知する為に同梱する。 |

## 出力仕様

[処理結果通知一覧]

以下の項目は、インポート処理の処理結果によってUIを介して通知する内容を示すものである。

具体的な表示方法や挙動は画面設計書を参照するものとする。

|  |  |
| --- | --- |
| 処理結果 | 表示する内容及び仕様 |
| ファイル正規性チェックの結果が正規ファイル | [7.2]の仕様記述内に記載。 |
| ファイル正規性チェックの結果が不正ファイル | 「不正なファイルがアップロードされた為、インポート処理を中止しました。」というメッセージを表示する。 |
| その他インポート処理中に以上が発生した場合 | 「インポート処理中に問題が発生しました。引き続き問題が発生する場合にはシステム管理者へ連絡してください。」というメッセージを表示する。  なお。この表示はシステムエラーを通知する画面を介して行う。  (システムエラー画面　○○画面仕様書.xlsx　○○シート参照) |

## 特記事項

特段の記載事項なし。

# 承認フロー複写機能

## 機能概要

承認フローデータを指定しそのデータと同じ承認フローを作成する機能。

## 機能仕様

この機能は、単一の承認フローを選択し複写処理を行う。

処理の開始には新たな承認フローIDの入力を求める。処理の完了後、承認フロー定義画面にそのデータを表示する。

利用者によるデータの確認及びカスタマイズが行われ、新たな承認フローとして保存される。

処理結果等は、UIを用いて利用者へ通知される。詳細は8.4[処理結果通知一覧]を参照。

また、この機能での承認フローの選択方法や結果通知などは画面仕様書を参照するものとする。

## 入力仕様

|  |  |
| --- | --- |
| 入力項目 | 内容及び仕様 |
| 新たな承認フローID | 承認フローID情報。  他何れの承認フローが持つIDとも重複しないユニークな文字列 |

## 出力仕様

[処理結果通知一覧]

以下の項目は、複写処理の処理結果によってUIを介して通知する内容を示すものである。

具体的な表示方法や挙動は画面設計書を参照するものとする。

|  |  |
| --- | --- |
| 処理結果 | 表示する内容及び仕様 |
| 入力された承認フローIDでのデータ作成が可能 | データを承認フロー定義画面へ表示し、以降は定義機能と同様に処理される。 |
| 入力された承認フローIDでのデータ作成が不可能 | 「この承認フローIDは既に利用されています。」というメッセージを表示し、再度入力を求める。 |
| その他処理中に以上が発生した場合 | 「処理中に問題が発生しました。引き続き問題が発生する場合にはシステム管理者へ連絡してください。」というメッセージを表示する。  なお。この表示はシステムエラーを通知する画面を介して行う。  (システムエラー画面　○○画面仕様書.xlsx　○○シート参照) |

## 特記事項

特段の記載事項なし。

# 承認フロー表示設定機能

## 機能概要

定義された承認フローを稟議申請で利用する為、UI上への表示設定及び公開設定を行う機能。

## 機能仕様

この機能は、「定義済み」かつ「運用ステータスが運用中」の承認フローをキーワードを用いて絞り込み、「表示フォルダ」と呼ばれる表示構造へ追加・削除を行う。

キーワードの詳細仕様に関しては9.3[承認フロー絞り込み検索]を参照するものとする。

この「表示フォルダ」は公開する承認フローをグルーピングし公開するユーザーやグループなどを指定し管理することができる。この公開に関する設定で公開範囲として定められた利用者は稟議起票時に表示フォルダが表示され、設定されている承認フローを用いて稟議起票を行うことができる。

表示フォルダに対して設定する情報については9.3[表示フォルダ設定値]を参照するものとする。

詳細な操作感は画面仕様書を参照するものとするが、利用者D&Dを用いて表示フォルダへの設定を行う。

表示フォルダに承認フローを設定する際の仕様ルールを示す。

　・単一の表示フォルダに対して同じ承認フローを設定することはできない。

　・承認フローが1件以上設定されていない表示フォルダは設定時自動的に非公開となる。

　・表示フォルダに設定できる承認フローの上限数は25件である。

この仕様ルールを順守した上で承認フローを表示フォルダへ所属させ、表示フォルダの公開設定を行い運用する。(この公開設定はあくまで表示フォルダに対する設定で承認フローの設定値ではない。)

承認フローの追加及び情報の設定後に「保存」ボタンを押下することにより、全ての表示フォルダ情報を一括保存する。

なお。公開・非公開の設定変更に関しては、「保存」ボタンの押下をトリガーとせず、設定が変更されたタイミングで情報がシステムへ反映される。

## 入力仕様

[承認フロー絞り込み検索]

この入力仕様は、表示フォルダへ追加する承認フローを絞り込む際に利用される。

|  |  |
| --- | --- |
| 入力項目 | 内容及び仕様 |
| キーワード | 承認フローID・名称の文字列情報。  入力された情報は、承認フローID・承認フロー名称の2つの情報に対して部分一致検索を用いて絞り込まれる。  空白の場合、承認フロー全件が表示される仕様となっている。 |

[表示フォルダ設定値]

この入力仕様は、表示フォルダが持つ設定値を示し入力による設定可否やその情報の取扱いを示す。

各設定値の設定方法については画面仕様書で示す。

|  |  |
| --- | --- |
| 入力項目 | 内容及び仕様 |
| 表示フォルダID | 表示フォルダの文字列情報。全ての表示フォルダ内でユニークな情報。表示フォルダの識別子として役割を持つ。  このID情報は自動生成され利用者が入力によってその値を変更することはできない。  初期値：生成時に自動生成。 |
| 表示フォルダ名称 | 表示フォルダの名称。稟議申請画面の表示に用いる設定項目。  この情報は利用者の入力によって設定値を変更する。  初期値：フォルダ　最大文字列数：60文字 |
| 公開設定 | 表示フォルダの公開設定情報。  公開・非公開の何れかを設定。(UI上のボタンを用いて設定)  初期値：非公開  公開に設定後、公開範囲に設定した情報へ該当する利用者に対して表示される。 |
| 公開範囲 | 表示フォルダが公開された際に画面上へ表示する利用者の範囲を定める。設定は拠点グループ単位で行う。  初期値：なし　設定上限数：なし |

## 出力仕様

[処理結果通知一覧]

以下の項目は、表示設定機能の結果によってUIを介して通知する内容を示すものである。

具体的な表示方法や挙動は画面設計書を参照するものとする。

|  |  |
| --- | --- |
| 処理結果 | 表示する内容及び仕様 |
| 表示フォルダ設定項目の保存成功時 | 「[表示フォルダ名]の項目設定が完了しました」というメッセージを表示。 |
| 公開・非公開設定の変更 | 「[表示フォルダ名]を公開しました。」・「[表示フォルダ名]を非公開にしました。」というメッセージを表示。 |
| 表示フォルダ設定項目の保存失敗時(バリデーションエラー) | 主に表示フォルダ名称に対するバリデーションエラーを想定。  名称情報の空白：「表示フォルダ名称が入力されていません。」 |
| 表示フォルダの一括保存成功時 | 「表示フォルダの設定を適応しました。」というメッセージを表示する。 |
| その他処理中に以上が発生した場合 | 「処理中に問題が発生しました。引き続き問題が発生する場合にはシステム管理者へ連絡してください。」というメッセージを表示する。  なお。この表示はシステムエラーを通知する画面を介して行う。  (システムエラー画面　○○画面仕様書.xlsx　○○シート参照) |

[承認フローの絞り込み結果]

|  |  |
| --- | --- |
| 処理結果 | 表示する内容及び仕様 |
| キーワードを用いた絞り込みの結果が1件以上の場合 | キーワードに入力された文字列を条件とし部分一致で絞り込みを行い合致した承認フローのID情報と名称情報。 |
| キーワードを用いた絞り込みの結果が０件以上の場合 | 合致する承認フローが0件であった場合には何も表示されない。 |

## 特記事項

特段の記載事項なし。

# 改訂履歴

[開発版]

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 生成バージョン | 記述者(改定者) | 作業日 | 作業・改訂内容 |
| Ver1.0.0 | 岩淵 陸斗 | 2025/07/18 | 初版作成 |
| Ver1.0.1 | 岩淵 陸斗 | 2025/07/25 | 最終レビュー展開スケジュール.xlsx  承認フロー系sheet第1修正指摘対応 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

※開発版には修正点・指摘点が多く発生することから別途管理表を作成し、改定内容については参照するものとする。

[正式版]

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 生成バージョン | 記述者(改定者) | 作業日 | 作業・改訂内容 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |